



有機化学の豊富な経験を関与する特許事案に活かしている。製薬会社、材料科学会社、大学などの特許出願の準備と実務を担当する。初期段階のスタートアップ企業から上場企業までの国際特許ポートフォリオも管理している。

特許実務に加えて、デューデリジェンス・レビュー、特許性、実施自由性に関する意見書など、幅広い特許問題についてクライアントにアドバイスしている。

細部まで行き届いた注意と、複雑な情報を非専門家でも理解できるように説明する能力は、彼の特技の一つである。分析的な性格を活かして、複雑な科学を明確で区別可能な特許出願に変換することができる。

法曹界に入る前は、インディアナ大学医学部生化学・分子生物学科で研究員として働き、スクリプス研究所で博士研究員を務めた。これらの役職において、タンパク質チロシンホスファターゼ、タンパク質アルギニンデヒミナーゼ、AMPylatorの化学プローブおよび抑制剤の開発に注力した。

## Honors

The Best Lawyers in America, Ones to Watch, 2024

ダン ルヴァレン , Ph.D.

オブ・カウンセル

11 S. Meridian St.  
Indianapolis, IN 46204

P 317-229-3115  
F 317-231-7433  
Daniel.Lewallen@btlaw.com

## 学歴

Loyola University Chicago School of Law, (J.D.), cum laude, 2021

University of Cincinnati, (Ph.D.), organic chemistry, 2010

DePauw University, (B.A.), chemistry, 2006

## 弁護士資格

インディアナ  
米国特許商標庁

## 言語

英語

## 取扱分野

知的財産